

# (1) これまでの取り組み

## (市の行政改革での取り組みと効果)

## 行財政構造改革『集中改革プラン』

- 江南市では、昭和61年3月に「**江南市行政改革大綱**」を策定して以降、平成15年3月の「**江南市第四次行政改革大綱**」の策定まで、事務事業の見直し、組織・機構の見直し、定員管理・給与及び人事管理の適正化の推進などを始めとする行財政改革の取り組みを進めてきた。
- 平成16年8月の市長による「**構造改革推進宣言**」以来、NPM理論に基づく行政経営システムの確立に向けて、具体的な取組内容を『**集中改革プラン**』としてとりまとめ、この集中改革プランを第5次行政改革として位置づけ、平成17～21年度までの5年間、職員一丸となって自立可能な行財政運営システムの構築に取り組んだ。

※ NPM (New Public Management) 理論とは、民間の経営手法を公的部門に応用した公的部門の新たなマネジメント理論のこと（プロセス管理から目標管理へ）

3

- 行政運営の改革、指定管理者制度の導入、民間委託・民営化の推進、組織の見直し、定員管理の適正化、事務事業の改革などを推進し、**目標を大きく上回る経費を削減**することができた。
- 職員数については、ほぼ目標どおりの削減ができ、**行財政運営の徹底したスリム化**を図ることができた。

平成17年度～平成21年度の5年間の削減額

目 標：30億4,484万2千円

実 績：40億1,306万7千円

達成率：131.8%

平成17年度～平成21年度の5年間の職員削減数

平成17年4月1日職員数756人に対して

目 標：108人 (△14.3%)

実 績：110人 (△14.6%)

達成率：101.9%

4

- 水道課では、事務事業の改革として負担金の見直しに取り組み、地方公営企業の改革として「未収金の徴収」「民間経営手法の導入による事務事業費削減」「水道給配水管情報管理システムの導入」に取り組み、以下の成果が得られた。

取組業務名	所管課	取組内容
未収金の徴収	水道課 下水道課	水道料金及び下水道使用料の取扱業務を蓄積した経験とノウハウを持った民間企業に業務を委託することにより、水道料金等の徴収率の向上を図る。
民間経営手法の導入による事務事業費削減	水道課	水道料金及び下水道使用料の徴収業務、受付事務及び検針業務を一括して民間業者へ委託する。
水道給配水管情報管理システムの導入	水道課	水道配管の管理情報を正確かつ迅速に把握するため、水道の給配水管情報を地図で管理するコンピュータ・システムを導入する。

効果見込額(目標)	効果額(実績)						5年間達成率
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	計	
3年間の委託期間の内に現年度の収納率99.0%を目標とする。	/						
民間活力の導入 効果見込額(4年間)約22,144,000円	-	6,489千円	15,719千円	14,655千円	12,037千円	48,900千円	220.8%
給配水管情報の確実な管理ができ、事務の効率化が図れる。	/						5

効果実績 (D欄) 積算説明  ※21年度は 当初予算 ベース	H18 委託前 正職員9人 臨時職員2人 80,748,000円 委託料 14,200,000円 計94,948,000円 委託後 正職員5人 42,500,000円 委託料 46,648,000円 計89,148,000円 削減額 94,948,000円-89,148,000円=5,800,000円 その他の経費の削減額 689,000円 5,800,000円+689,000円=6,489,000円
	H19 委託前 正職員9人 臨時職員2人 82,439,000円 委託料 14,200,000円 計96,639,000円 委託後 正職員4人 34,940,000円 委託料 46,648,000円 計81,588,000円 削減額 96,639,000円-81,588,000円=15,051,000円 その他の経費の削減額 668,000円 15,051,000円+668,000円=15,719,000円
	H20 委託前 正職員9人 臨時職員2人 80,489,000円 委託料 14,200,000円 計94,689,000円 委託後 正職員4人 34,084,000円 委託料 46,648,800円 計80,732,800円 削減額 94,689,000円-80,732,800円=13,956,200円 その他の経費の削減額 699,000円 13,956,200円+699,000円=14,655,200円
	H21 委託前 正職員9人 臨時職員2人 75,702,000円 委託料 15,336,000円 計91,038,000円 委託後 正職員4人 32,024,000円 委託料 47,629,440円 計79,653,440円 削減額 91,038,000円-79,653,440円=11,384,560円 その他の経費の削減額 652,511円 11,384,560円+652,511円=12,037,071円

年度別：水道事業職員内訳表

(単位：人)

職員 内訳 年度	管理職員				事務職員			技術職員			合計	職員増減理由	
	部長	課長	課長補佐	計	庶務係	業務係	計	工務係	配水係	計			
平成12年度	1	1	2	4	3	5	8	9	4	13	25		
平成13年度	1	1	2	4	3	5	8	9	4	13	25		
平成14年度	1	1	2	4	3	5	8	9	4	13	25		
平成15年度	1	1	2	4	3	6	9	8	3	11	24		
平成16年度	1	1	2	4	業務係へ統合	9	9	8	3	11	24		
平成17年度	1	1	2	4		9	9	8	3	11	24		
平成18年度	1	1	2	4		5	5	8	3	11	20	集中改革プラン「水道料金等取扱業務委託開始」による事務職員の減員	
平成19年度	1	1	2	4	4	4	8	3	11	19			
(グループ制導入) 平成20年度	都市整備部に統合	←	廃止	管理職員計	経営管理G	業務管理G	事務職員計	給水G	維持管理G	配水G	技術職員計	←	集中改革プラン「グループ制導入」による管理職員の減員
		1		1	3	2	5	4	4	3	11	17	

7

(グループ制導入) 平成20年度	都市整備部に統合	←	廃止	管理職員計	経営管理G	業務管理G	事務職員計	給水G	維持管理G	配水G	技術職員計	←	集中改革プラン「グループ制導入」による管理職員の減員
		1		1	3	2	5	4	4	3	11	17	
平成21年度		1		1	2	2	4	5	3	3	11	16	集中改革プラン「水道料金等取扱業務委託開始」による減員
平成22年度		1		1	4	経営管理Gと統合	4	4	3	2	9	14	「配水場運転管理業務委託開始」による減員
平成23年度		1		1	4		4	4	3	2	9	14	
平成24年度		1		1	4		4	4	3	2	9	14	
平成25年度		1	1	2	4		4	5	配水Gと統合	4	9	15	H26簡水統合による給水区域拡大のため、増員
平成26年度	1	1	1	3	4		4	5		4	9	16	水道部再編成による増員
平成27年度	1	1	1	3	4		4	5	4	9	16		
平成28年度	1	1	1	3	4		4	5	4	9	16		
平成29年度	1	1	1	3	4	4	7	配水・維持G	3	10	17	基幹管路更新工事開始による増員 ※部長は、都市整備部長兼務	
平成30年度	1	0	1	2	4	4	7		3	10	16	部長の課長兼務による減員	
職員内訳 (現在名称)	部長	課長	主幹	管理職員計	経営・業務G	事務職員計	工務G	配水・維持G	技術職員計	合計	職員増減理由		

8

# 『江南市リノベーションビジョン』

- 行政サービスが一定の成熟期を迎える中、新たな市の姿を示す第6次江南市総合計画が平成30年度からスタートし、その新しい変革と共に、江南市第八次行政改革大綱を『江南市リノベーションビジョン』として取り組みます。
- 『江南市リノベーションビジョン』では、これまで長きにわたる行政改革で培ってきたものを、既存の枠にとらわれることなく、「3つのシンカ（進化・深化・新加）」を意識しリノベーション（改善）することにより、時代に合わせた長期的な発展により、「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」を実現します。

9

- 水道課では以下の取り組みを行い、5年間で約150万円のコスト縮減効果を見込んでいます。

No. 20	ICTを活用した配水管情報の提供					水道課
目標とするビジョン	配水管の布設情報は、土地の利用に際して重要な情報であり、インターネット上で公開し、サービスの向上を図ると共に、事務の効率化、スリム化ができています。					
改善の柱	(1)進化、(2)深化、(3)新加					
総合計画との関連性	—					
達成目標年度	平成31年度					
計画期間	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
スケジュール	調査・検討		実施			
取組内容	先進自治体の実施状況、その効果等を調査する。公開する情報の範囲や取扱方法を検討し、運用に向け具体的なシミュレーションをする。情報の公開について関係部署との調整、外部へPRをする。	配水管情報のインターネット公開を実施する。				
効果見込額	ICTを活用した配水管情報を提供する前と後の経費比較【平成30年度に算定予定】					
	—	★				

10